

## 南丹地域のみなさんへ

日本は高度成長時代の経済発展により、世界的にみても高い所得水準を実現し、豊かな社会を築きあげてきました。しかし一方で、私たちが「ほんものの豊かさ」を実感できていないことも指摘されています。

地球規模で急速に変化が進み、価値観が多様化する今日の社会において、「ほんものの豊かさ」を得るためには、人々が生涯を送り、日々の暮らしを営む地域において、すべての人々が安心・安全に生活できるとともに、一人ひとりが多様な選択肢を持ち、物の豊かさだけでなく、生きがい、働きがい、ゆとり、やすらぎなど心の豊かさを享受できる、未来への展望をしっかりと見通し得る地域づくりが必要であると考えます。

南丹地域は、京都府の面積の約4分の1を占め、山・川・盆地など多様な地域・地形の中に、都市と農山村が展開し、多様な人々の暮らしが営まれている地域です。長い歴史の中で育まれてきた先人の知恵や美しい自然、質のよい食材、豊かな郷土文化など「ほんものの豊かさ」に必要な資源や可能性が実に数多く、また多様に存在する地域であり、時代を超えた普遍的な豊かさを享受し、発信できる地域であると南丹広域振興局では考えています。

私たちは今、少子・高齢化の急速な進行、人口減少時代の到来、地域経済の低迷、さまざまな格差の存在、地球温暖化をはじめとする地球規模での環境問題、子どもをめぐる悲惨な事件の多発、地震や台風などによる大災害など、私たちの日常生活を脅かす重大かつ切迫した課題に対峙し、その解決を求められています。このような激動の時代だからこそ、地域が改めてその特性や歴史を学び（「温故」）、地域内のさまざまな力を結集し、新しい力を生み出す（「知新」）ことによって、「ほんものの豊かさ」を感じられる地域づくりを行っていくことが必要です。

この『南丹地域づくりの提案書』（南丹地域振興計画）は、2004（平成16）年5月にスタートした南丹広域振興局が、地域のみなさんと一緒に地域づくりを進める第一歩として、南丹広域振興局が考える南丹地域の強みや課題、ビジョンを地域のみなさんに率直にお示しするために策定したものです。また、その実現に向けて、南丹広域振興局が戦略的に取り組む5つの実践プランを記載しています。

この計画は数々の議論や幾多の意見の集約を経て、最善を尽くして策定したのですが、まだ完成した計画ではありません。これから地域のみなさんと一緒に育て、「成長させていく計画」です。これから地域での協働を進めていく中で、みなさんからご意見・ご提案、具体的な取組など、さまざまな形での参画をいただきながら、計画をどんどん成長させていきたいと考えています。そして、南丹地域全体での協働や自主的な活動の広がり、南丹地域ならではの新たな取組へとつなげることによって、「ほんものの豊かさ」を感じられる南丹地域をみなさんとともに実現していきたいと考えています。

南丹広域振興局